

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスおとほ摂津児童館			
○保護者評価実施期間	R6年4月1日 ～ R7年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	R6年4月1日 ～ R7年3月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年5月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用時の様子等記載し保護者様にお渡しする連絡帳の内容が充実している。	当児童のどの日の体調や様子、療育の取り組み姿勢と反応やできたこと、できなかったことを細かく保護者様に伝えるように記載している。	スタッフ一人あたりの連絡帳の冊数を少なくするよう役割分担をしていきながら一人一人の連絡帳内容を充実させていく。
2	在籍するスタッフ全員が10年以上のキャリアがあり、小学1年生の入学時から継続して通っていただいている児童も多く関わりが深いため利用児童の性格や課題などを熟知している必要な支援を行える。児童たちとその保護者様との信頼関係が持っている。	普段や今までと違った様子や反応を感じたらその都度スタッフ内で情報を共有し合い、今後の療育に繋げていくことが出来るようメモに残していったり保護者様にお伝えすることによって児童の心の変化や成長面などを共有し一緒に喜んだり考えていくことができるように本人の様子をよく観察し関わっていくようにしている。	
3	2Fホールに広い運動スペースがあり雨の日でも体を動かすことが出来る。また夏休みに行うプールも大人数でも十分広々遊ぶことが出来る大きさが児童や保護者様も楽しみにされている。	1日利用時には朝の活動(制作活動・勉強)や生活当番に取り組みながら午後から2Fホールで運動遊びやゲームに取り組み活動を分けることでメリハリをつけている。	児童の各々の運動面の課題と目標をあげ、個人別の運動療育にも取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの人数が多くはないので固定のスタッフとの関わりになってしまう。また地域との交流を行う機会を設けることが出来ない。	地域との交流については、今まで必要性を感じていなかったため実施することがなかった。	地域の行事に積極的に参加していき、保護者様に周知していきたい。
2	ご家族様に対してペアレントトレーニングが出来ていない。面談や保護者交流会などがなく送迎時にしか話す機会をもてていない。	スタッフのスキルアップが必要。スタッフの人数も多いため現状児童の療育や事務業務で手いっぱいになっている。	ペアレントトレーニング出来る人材を確保したい。
3	生活当番の固定化	まだ生活当番が習慣化していなかったり、見守りや支援が必要な児童に合わせてプログラムを固定化しているが生活当番に慣れてきて自分でこなすことが出来る児童にとってマンネリ化してきている。連絡帳に記載する様子などにも重複することが多く変化が必要。	同じ当番でも少しレベルアップした内容を取り入れていきながら丁寧さや正確さを重視してチェックや声かけをしていきお当番の精度をあげていく。